

2015.8.6

### 8.20 広島八木災害報告（第 38 報）

今日、8月6日、70年前を思い出します。小学校3年生だった私は夏の登校日で小学校におりました。8時15分、真夏の光を飛び越えた更に強い光が宙を飛んできて、目がくらみ、その後すぐに耳をつんざく大きな音で教室の窓ガラスがすべて壊れました。

被爆地から14キロ離れた場所でもそうでした。まして、当時10万人の人が広島市内で即死状態でしたが、大変な目にあわれたと今更ながら感慨無量です。本日の平和公園における原爆被爆者追悼式典では、広島市長も安部首相も、核爆弾禁止を強く訴えておられました。はやく現実化すればと思います。

被爆体験をした私にとっては、昨年の「8.20 災害」は第2の大きなイベントでした。被災者の中には被爆した方も多く含まれていますので、二重の苦勞をしているものと思われます。

現在、市、県は建物の補修のために「被災者生活再建支援金」を出して、破壊された建物の再建を進めております。しかしながら、安全の保てられない被災地に新築をしたり、補修をして帰って来ようという人はいません。早く安全な土地に戻すことが、再建の最重要課題です。

2015.8.6 午前 11 時

桑原医院 桑原正彦